

令和6年度の主な取り組み

令和7年10月
仙台市経済局

目次

令和6年度の取り組み概要	3
1. 仙台経済COMPASS推進	4
(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進	5
(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出	23
(3) 地元中小企業の変革と成長促進	32
(4) 「防災環境ビジネス」の推進	51
(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上	53
(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上	61
2. 農林業の持続的発展	69
(1) 経営体の確保・育成	70
(2) 生産基盤の強化	73
(3) 魅力ある地域の形成	77
(4) 収益性の向上と所得の確保	79
(5) 森林の持つ多面的機能の発揮・維持	82
3. 仙台中央卸売市場	85
(1) 管理課	86
(2) 業務課	86
(3) 花き市場	87
(4) 食肉市場	87

令和6年度の取り組み概要

物価高騰が長期化し、世界情勢も不透明さを増す中で、また、仙台防災枠組やSDG s といった未来に向けた国際的な取り組みが進む中であって、令和6年度は、新たに策定した「仙台経済COMPASS」のもと、仙台・東北の持続的発展に向けて、本市経済の基盤である中小企業の変革と成長を支援し、成長エンジンとなるスタートアップの支援や育成を進めるとともに、新たな価値創造の場となるリサーチコンプレックス形成を目指し、3GeV高輝度放射光施設「ナノテラス」の利活用を促進するなど、イノベーション創出に向けた取り組みを行った。

さらには、農林業が持つ多面的機能を活用した、持続可能で魅力あふれる農林業の推進とともに、再整備が予定されている中央卸売市場の流通効率化や市場取引の活性化を図るための取り組みを行った。

特に、産業政策分野においては、中小企業活性化条例を踏まえ、本市企業の人材確保・定着に資する事業や、地域経済を牽引する「地域中核企業」の輩出に向けた重層的支援を展開するとともに、中心部商店街の活性化に向けた新たな取り組みを推進したほか、先端技術との融合による新事業創出支援や仙台スタートアップスタジオによる起業支援、企業立地促進など、地域経済の発展に不可欠な成長基盤づくりに注力した。

農林業分野では、認定農業者・新規就農者に対する支援を通じた経営体の確保・育成、農業用施設の長寿命化による生産基盤の強化、有害鳥獣対策による魅力ある地域の形成、6次産業化や地産地消による収益性向上、森林の持つ多面的機能の発揮・維持などに力を入れたほか、肥料及び飼料の価格高騰に対応した農業経営緊急支援を行った。

中央卸売市場については、東北全体における生鮮食料品流通の拠点としての役割を果たすため、施設の老朽化対応や取引に関する指導・監督、消費拡大の取り組みに加え、コールドチェーンの構築や低温保管施設の不足といった課題の解決に向け、市場再整備のための調査検討業務委託を行った。

1. 仙台経済COMPASS推進

- (1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進
- (2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出
- (3) 地元中小企業の変革と成長促進
- (4) 「防災環境ビジネス」の推進
- (5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上
- (6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

仙台「四方よし」企業大賞制度

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和6年度決算額：6,944千円

令和6年度の取り組み

健全な経営の下で「社会的課題解決」及び「魅力的な職場環境づくり」に向けた取り組みを実施している市内中小企業を『仙台「四方よし」宣言企業』として通年で募集した。

また、『仙台「四方よし」宣言企業』の登録企業を対象に、仙台「四方よし」企業大賞表彰を行い、大賞、優秀賞、ダイバーシティ経営特別賞の企業を決定し、表彰した。

大賞



優秀賞



ダイバーシティ経営
特別賞



【受賞企業の取り組み】

①大賞：株式会社ユーメディアア

定禅寺通工エリアにおけるイベント企画運営の主体を担い、イベント来場者と地域関係者との繋がりを創造している。また、働きやすさと働きがいの両立に努め、社内の女性や若手職員の活躍・定着を促進している。

②優秀賞・ダイバーシティ経営特別賞：

株式会社アップルファーム

障がい者の経済的自立をサポートするという理念のもとで、障がい者の雇用に努めている。また、従業員ファーストで制度や業務を設計し、個人面談を充実させ、従業員の定着率の増加を促進している。

③優秀賞：株式会社山一地所

多様性と柔軟性を重視した働き方改革、組織文化の醸成により、離職率の低下や女性の活躍を促進している。また、SDGs推進のため、社内で完結するミニマリストプロジェクトやグリーンプロジェクトを行っている。

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

仙台で働きたい！プロジェクト (サイト運営、イベント開催)

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和6年度決算額：15,882千円

令和6年度の取り組み

● ウェブサイトによる情報発信

地域就職の魅力を伝えるため、就職・転職お役立ちポータルサイト『仙台で働きたい！』を運営し、1,500社以上の企業情報やイベント情報、仙台市の都市情報や地域企業で働く若手社員のインタビュー記事等を発信した。



「仙台で働きたい！」ウェブサイト

● BEST JOB事業

就職活動に臨む学生が「地域企業を知り、地域就職を考える」機会となるイベントを様々な内容で開催した。

・ マッチングイベント「センダイシゴト博」

開催回数：計2回

参加企業数：計58社

参加者数：延べ203名

・ 少人数イベント「センダイシゴト大学」

開催回数：計9回

参加企業数：計30社

参加者数：延べ212名

・ 就業体験「みやぎの就業体験プログラム」

参加企業数：39社

参加者数：147名



イベントの様子

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

仙台で働きたい！プロジェクト (ローカルキャリア促進)

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和6年度決算額：24,666千円

令和6年度の取り組み

● 長期有給就業体験・インターンシップ

「センダイシゴト体験」

長期有給就業体験・インターンシップの意義を理解し、大学等低学年の学生を受け入れることで、地域企業で働くことの魅力ややりがいを直にアピールし、採用・定着につなげてもらうことを目的に、市内企業を対象にプログラム作成や学生とのマッチングの支援等を行った。

- ・ 参加企業数：62社
- ・ 掲載プログラム数：76件
- ・ 参加者数：延べ62名



就業体験・インターンシップの様子



● 外国人留学生と地域企業との交流事業

市内の高等教育機関に通う外国人留学生が、卒業後も仙台で活躍できるよう、地域企業とのマッチングイベント等を実施した。

- ・ イベント開催回数：計2回
- ・ 参加企業数：延べ20社
- ・ 参加者数：延べ38名



イベントの様子



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

ミライ人材就活ニーズ調査

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和6年度決算額：2,000千円

令和6年度の取り組み

学生の就職活動、仕事・生活等に対するニーズや価値観等を把握するため、宮城県内及び山形県内の大学・短期大学等の最終学年の学生を対象に、インタビュー調査及びアンケート調査を実施した。

● 調査概要

定性調査(インタビュー調査)	
調査対象	宮城県内及び山形県内の大学4年生、計16名
調査方法	グループ・インタビュー(一部単独インタビュー)
調査内容	基本属性、内定先情報、就職活動、仕事・生活等に対するニーズや価値観などに関する内容
実施時期	2024年4～5月

定量調査(アンケート調査)	
調査対象	宮城県内及び山形県内(※)の大学4年生・大学6年生・大学院前期2年生・短期大学2年生、計872名 ※ 石巻専修大学、尚絅学院大学、聖和学園短期大学、仙台大学、仙台白百合女子大学、仙台青葉学院短期大学、東北大学、東北医科薬科大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北生活文化大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、宮城大学、宮城学院女子大学、山形大学(学校名五十音順)
調査方法	インターネット・リサーチ
調査内容	基本属性、内定先情報、就職活動、仕事・生活等に対するニーズや価値観などに関する内容
実施時期	2024年7月1日(月)～8月18日(日)

● 調査結果概要

- ・「働くうえで大切にしたいこと」の上位には、「社員同士の仲の良さや相談しやすい雰囲気」や「プライベート時間の確保」が挙げられた。
- ・就職を機に首都圏に転出する(した)層では、「やりたいことの実現」や「専門的スキルの向上」など、自身の成長を重視する傾向が見られた。

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

奨学金返還支援事業

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和6年度決算額：46,650千円

令和6年度の取り組み

地元中小企業に就職した若者の奨学金の返還を3年間補助（最大18万円/年×3年間→最大54万円）することにより、地元就職へのきっかけづくりや人材定着を図った。

令和7年3月に新卒者（既卒3年以内含む）として協力企業に正規雇用で就職する学生を対象に募集を行い、定員140名に対し110名を支援対象者として認定した。

- 認定支援対象者数：110名（令和7年3月卒業者）
（参考）令和7年3月卒業者を含むこれまでの累計624名
- 認定協力企業数：197社（令和7年3月末）

【支援対象者】

新卒者として対象企業に正規雇用で就職する者（大学、大学院、短大、高専、専修学校専門課程の者。既卒3年以内含む）

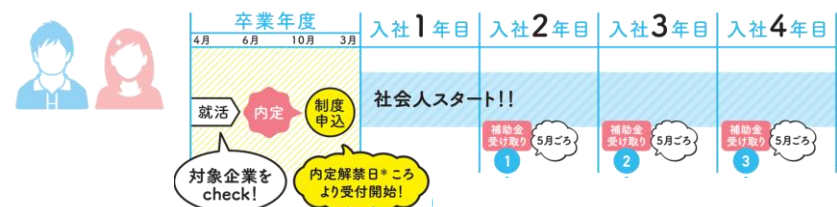
【支援の条件】

協力企業に就職し、奨学金の返還を行っていること

【対象企業】

- 市内に本社を置く中小企業、社会福祉法人、医療法人、NPO法人等
- 市外本社の場合は、市内に事業所があり、そこで働く者を採用する中小企業、社会福祉法人、医療法人、NPO法人等

【支援の流れ】



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

学生向け地元企業理解促進

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和6年度決算額：565千円

令和6年度の取り組み

学生が地域企業経営者や若手社員から直接話を聞き、意見交換する場を設け、職業選択について考えるとともに、「仙台で働く意義」「中小企業の魅力」を伝える機会を創出し、併せて企業側の意識改革や人材確保等に繋がる取り組みを行った。

● 学生×地元企業

～話せる、つながる、グループワークショッップ～

(YEGとの共催)

- 参加企業数：64社
- 参加学生数：55名



交流会の様子

● 仙台商業高等学校キャリアセミナー

参加企業数：18社

参加生徒数：約600名



キャリアセミナーの様子

● 大学のキャリア授業を活用した交流事業

宮城大学、山形大学で講義を行った。

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

移住支援助成

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和6年度決算額：128,200千円

令和6年度の取り組み

東京圏からの移住者のうち、地域の対象企業就職者やテレワーカーなどを対象に、移住支援金を支給した。

・ 交付件数：90件

● 主な支給要件

・ 移住元での要件

一定の期間、東京23区に在住または東京圏に在住し、東京23区内に通勤していること。

・ 移住先での要件

移住支援金対象求人への新規就業者、みやぎUIターン起業支援補助金の交付対象者、移住元での業務を引き続きテレワークで行う方など、一定の就業要件を満たすこと。

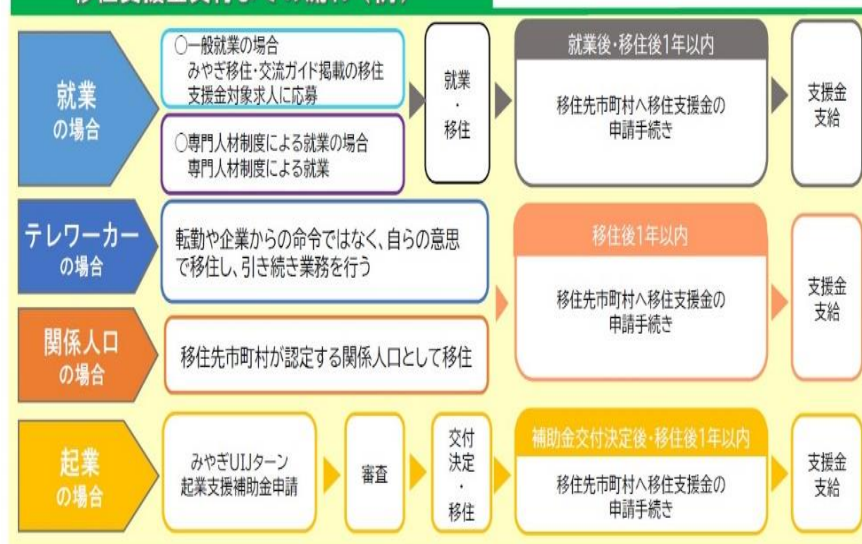
● 支給額

・ 単身での移住：60万円

・ 世帯での移住：100万円（※）

※18歳未満の世帯員1名につき100万円を加算。

移住支援金交付までの流れ（例）



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

グローバル人材確保・育成

仙台市産業振興事業団 組織活性推進課（商業・人材支援課）

（連絡先：022-748-6877）

令和6年度決算額：2,320千円

令和6年度の取り組み

● グローバル人材確保

将来の経営者候補、事業拡大・海外展開のリーダーとなりうる海外の高度人材と地域企業とのマッチングを図るため、合同企業説明会への出展や台湾学生の県内企業における越境インターンシップ等を実施した。

- ・ イベント等の開催回数：11回
- ・ オンライン含む開催イベント等の参加者数：延べ266名



台湾・中原大学 学内ジョブフェア



外国人対象会社見学ツアー

● グローバル人材育成支援

・ 海外留学支援奨学金

仙台都市圏の活性化・国際化に寄与するグローバル人材を育成するため、在仙大学生等が行う海外留学およびインターンシップ用の奨学金貸与を行った。

- ・ 採択者数：1名



● グローバルマインド育成事業補助金

仙台都市圏の中小企業等が、国際競争力の向上や海外販路拡大に向けて、若手社員の海外渡航機会の創出・グローバルマインド醸成を行えるよう、若手社員が海外へ渡航する際に要する費用の一部に対し企業へ補助金を交付した。

- ・ 採択件数：2社



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

若手人材確保等による組織文化変革促進

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和6年度決算額：4,984千円

令和6年度の取り組み

地域企業の新たな人材獲得の選択肢として入社直後から中核人材として活躍が見込まれる新卒者や既卒5年以内の方とのマッチングを行い、地域企業における組織文化の変革及び競争力の強化につなげるため、求人情報の磨き上げ等の支援を実施した。

- 主な内容：
 - ・ 企業の組織体制・文化の変革にかかる助言
 - ・ 求人内容の磨き上げ、マッチング支援
 - ・ 内定者へのフォローアップ
- 支援企業数：10社
- 採用につながった企業数：3社（3名）



ホームページによる求人情報の発信

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

中核人材養成プログラム

仙台市産業振興事業団 組織活性推進課（商業・人材支援課）

（連絡先：022-748-6877）

令和6年度決算額：7,292千円

令和6年度の取り組み

中小企業が持続的成長や組織力の維持・強化を果たすための中核を担う人材を育成するため、現在マネジメント層として、従事している人材を対象に、必要なマインドやスキルを習得するための研修プログラムを実施した。

- 参加者数：10社10名

2024年 4月	2024年 5月	2024年 6月	2024年 7月	2024年 8月	2024年 9月	2024年 10月	2024年 11月	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月
● 募集開始 ● オンライン説明会	● ②インフラ研修開始（4回） ● メンバー確定（①事前課題・課題図書）	● ②研修（全5回） ● ③課題研修	● ④東京研修（1泊2日）	● プロジェクトプラン発表会 ● オンライン		● ⑤中間報告		● 成果報告会準備	● ⑥成果発表会	● ⑦成果報告書作成
⑦ビジネスメンターによる1on1 ● 1回目 ● 2回目 ● 3回目 ● 4回目 ● 5回目										
⑤プロジェクトマネジメント研修・作成 ⑥マイプロジェクト実践										

スケジュール



域外企業での企業内研修の様子



成果発表会

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

人材定着・組織開発プログラム

仙台市産業振興事業団 組織活性推進課（商業・人材支援課）

（連絡先：022-748-6877）

令和6年度決算額：5,004千円

令和6年度の取り組み

組織風土の改善、人材定着の仕組みづくりを支援するため、現代のリーダーに求められるマネジメントやコミュニケーションスキルを学び、現場での実践を通して、組織開発能力を身につけるための伴走型プログラムを実施した。

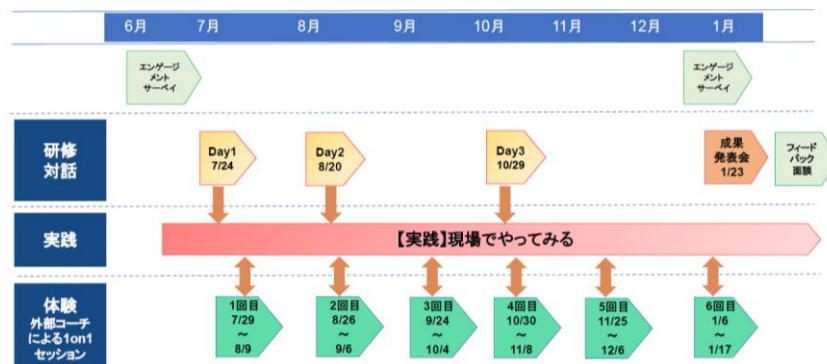
- 参加者数：10社20名



プログラム研修の様子



成果発表会



スケジュール

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

人材獲得等セミナー・コンサルティング

仙台市産業振興事業団 組織活性推進課（商業・人材支援課）

（連絡先：022-748-6877）

令和6年度決算額：5,175千円

令和6年度の取り組み

● 採用セミナー

セミナーやワークショップを通じて、人事・人材獲得におけるノウハウを提供した。

- ・ 開催回数：計6回
- ・ 参加者数：延べ124名



セミナー・ワークショップの様子

● 採用コンサルティング

学生・求職者に選ばれる企業づくりを目指し、企業が抱える個別の人事課題に対して、専門家のアドバイスを交えた伴走型支援を行った。

- ・ 利用企業数：41社
- ・ 実施回数：延べ101回



● 個人向けキャリアコンサルティング

学生・求職者・在職者を対象に、就職や転職、将来のキャリア等について、国家資格を持つキャリアコンサルタントによる個別相談を実施した。

- ・ 利用者数：延べ292名
- ・ 実施回数：50回



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

仙台グローバルスタートアップ・キャンパス

スタートアップ支援課

(連絡先: 022-214-8768)

令和6年度決算額: 45,223千円

令和6年度の取り組み

SENDAI Global Startup Campus (SGSC)

185名が応募、107名を選抜



Stage.01

アントレプレナーシッププログラム

世界最大のオンライン教育プラットフォームCourseraによる最先端のアントレプレナーシップ人気コースを提供。コホート学習により受講生同士で学びを共有。

coursera

107名から20名を選抜



Stage.02

リーダーシッププログラム

20名がハーバード・ビジネススクールの人気オンラインプログラムを受講。同時にビジネスプランの作成・ブラッシュアップの個別支援も実施。



**Harvard
Business
School
Online**

Stage.02終了者を派遣



Stage.03

ボストン・シリコンバレー派遣

Stage02終了者を米国に派遣し、ハーバード大学、スタンフォード大学など、イノベーション拠点を訪問。磨き上げたビジネスアイディアを発表。



**Harvard
Business
School**



**Stanford
University**

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

スタートアップ創出集中支援プログラム

スタートアップ支援課
(連絡先：022-214-8768)
令和6年度決算額：15,497千円

令和6年度の取り組み

- スタートアップ立ち上げを目指す人材の募集

仙台グローバルスタートアップ・キャンパス卒業生を中心に、起業意欲の高い若手人材や創業間もないスタートアップを募集し、ベンチャーキャピタルやエンジェル投資家、スタートアップ経営者等による審査を通じて、6者を採択した。

- 伴走支援プログラムの実施

選抜者に対して、事業化及び事業成長に向けた課題を分析し、6か月程度、ベンチャーキャピタルやエンジェル投資家、スタートアップ経営者等による個別指導や著名なスタートアップ経営者による講演会や交流イベント、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体とのマッチング支援等を実施した。

- 成果発表会の開催

選抜チームの事業アイデアや今後の目標等について発表する成果発表会を実施し、本プログラムの成果の共有や、起業や事業展開に向けた更なる支援の呼び込み等を行った。

【スキーム】



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

留学生起業家輩出・育成支援

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和6年度決算額：825千円

令和6年度の取り組み

- ・ 起業やスタートアップに関心のある留学生や外国人を対象とした新たな起業支援プログラム「SENDAI Global Lounge」を立ち上げ、仙台市に在住する外国人または留学生を対象としたキックオフセミナーを仙台市内で開催した。

参加者数：47名

- ・ また、外国人向け起業支援メニューを掲載した英語表記によるポータルサイトを開設した。



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

起業啓発・促進イベント開催

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和6年度決算額：6,900千円

令和6年度の取り組み

起業に対する理解・関心を高め、起業を啓発・促進するとともに、本市へのUIターン起業や東北の起業家に対する支援・投資を呼び込むきっかけを創出するため、全国で活躍する著名な起業家による基調講演や、東北で活躍する起業家のプレゼンテーションなどを行う地方最大級の起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」を開催した。

仙台・東北のスタートアップ支援に関わるさまざまな団体との連携によりイベントの規模を従来より大幅に拡充して実施し、本イベントを通じて、仙台・東北から社会的・経済的インパクトを創出し、世界に挑戦するスタートアップを生み育てるエコシステムのさらなる発展を目指した。

- ・本市主催イベント来場者数：598名



(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

小中高生アントレプレナーシップ醸成

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和6年度決算額：1,260千円

令和6年度の取り組み

次世代の起業人材を育成することにより、起業のすそ野の拡大を図るため、小中高生向けに起業体験ワークショップ等を実施した。

小学生、及び中学生向けには、グループ単位で仮想の会社を設立し、商品企画から事業計画の作成、資金調達、商品制作、販売、決算までの一連の流れを1日で体験するワークショップを開催した。

高校生向けには、起業家からのレクチャーを受けながらビジネスプランを作成し、成果発表のプレゼンテーション等を行う内容のデザイン思考を活用した社会課題探究ゼミを3日間に亘り実施した。

これらのワークショップ等を通して起業家精神（チャレンジ精神、創造性）や起業家的資質・能力（判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力など）の醸成につながった。

- ・参加者数（小学生）：46名
- ・参加者数（中学生）：22名
- ・参加者数（高校生）：12名



売上と利益の分析の様子



資金調達の様子

(1) 企業の変革に向けた「戦略的ダイバーシティ」の推進

首都圏スタートアップ支援ネットワーク構築

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和6年度決算額：24,032千円

令和6年度の取り組み

首都圏拠点として活用していた「CIC Tokyo（ケンブリッジ・イノベーション・センター東京）」に加えて、ライフサイエンス領域での「オープンイノベーションの促進」を目指し、同産業が集積する東京・日本橋に所在するLINK-Jを新たな拠点として開設した。

両拠点にて開催されるイベントへの参加や、イベントの主催、入居企業とのネットワーク等を通じて、本市のスタートアップ・エコシステムの発展や、スタートアップの成長に繋がるような人的ネットワーク創出に繋げることができた。

- ・ マッチング及び交流イベントの参加者数：474名
- ・ 新規メンターズボックス獲得数：7者
- ・ スタートアップのCXO候補人材獲得数：5者
- ・ スタートアップとVCとのネットワーク構築数：17者



CXOマッチングイベント



首都圏での成果発表会

(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

仙台スタートアップスタジオ推進

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和6年度決算額：34,334千円

令和6年度の取り組み

令和6年3月14日にスタートアップのためのワンストップ支援拠点である仙台スタートアップスタジオを開設した。

開設後、仙台・東北にゆかりがあり首都圏を中心に活躍しているスタートアップ経営者や投資家、士業の方々や、地元の経営者の方々をアドバイザーに就任いただく等、スタートアップ相談体制の構築し、スタートアップに対する相談対応を行った。

また、セミナー、マッチング、交流会等のイベント開催を実施し、仙台スタートアップスタジオ開設に向けた拠点の周知とスタートアップに対する包括的な支援体制の構築、支援者との連携強化、仙台・東北のスタートアップ関係者のコミュニティの醸成を図った。

- ・相談窓口対応件数：156件（対面・オンライン）
- ・外国人創業・起業活動促進事業（スタートアップビザ）
相談者数：14者
- ・セミナーや交流会等イベントの開催：63回
- ・イベント参加者数：2,131名



仙台スタートアップスタジオ開業イベント



相談窓口（対面）の様子

(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

研究開発型スタートアップ育成

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和6年度決算額：20,580千円

令和6年度の取り組み

東北に所在するミドルステージを中心とした研究開発型スタートアップが抱える数々の課題に対して、ヒアリングをもとに、個社ごとのニーズに応じた柔軟な支援を提供した。

【具体的な支援内容】

- ・ 資金調達支援

※プログラム期間中の資金調達金額：1.67億円

- ・ 海外展開支援（展示会への出展助成含）
- ・ 営業人材による販路開拓支援
- ・ 社労士による内部労務関係整備支援
- ・ Webマーケティング構築支援
- ・ 社内ガバナンス体制構築支援

採択社数：6社



(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

ソーシャル・インパクト加速化

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和6年度決算額：17,000千円

令和6年度の取り組み

社会起業家育成プログラム「SOCIAL IMPACT ACCELERATOR」「SOCIAL IMPACT BOOSTER」を実施し、社会起業家に対して約半年間の集中支援を行った。また、上記プログラムに採択された社会起業家のプレゼンやゲストスピーカーによる基調講演などを通じて、仙台および東北のソーシャル・イノベーションの取組を後押しし、その広がりをさらに加速することを目指し、「TOHOKU SOCIAL INNOVATION SUMMIT 2025」を開催した。

- ・プログラム修了者数：9名
- ・ミートアップイベント参加者数：76名
- ・「TOHOKU SOCIAL INNOVATION SUMMIT 2025」参加者数：163名



(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

スタートアップ・エコシステム拠点都市推進

スタートアップ支援課
(連絡先: 022-214-8768)
令和6年度決算額: 2,364千円

令和6年度の取り組み

仙台・東北のスタートアップ・エコシステムをさらに発展すべく、仙台スタートアップスタジオにて地域内外のスタートアップ起業家やスタートアップ支援キーマンを登壇者に招いたイベントを開催し、仙台らしいスタートアップ・エコシステムのさらなる発展に向けて、協議会会員や地域内外のスタートアップ支援関係者による支援施策等に関する意見交換を行った。



会員向け勉強会

【活動実績】

- ・ 協議会会員内連絡会議 3回
(担当者間事務連絡会議、施策検討委員会、総会)
- ・ 協議会会員向け勉強会 5回

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会 拠点形成計画KPI達成状況

拠点形成計画に掲げるKPIの達成状況について(2020年7月～2025年3月累計)



(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

東北大学連携型起業家育成

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和6年度決算額：4,000千円

令和6年度の取り組み

東北大学の研究シーズ活用企業の創出・成長を支援し、雇用拡大・地域経済活性化を図ることを目的に、東北大学連携型起業家育成施設（T-Biz）の運営支援と、入居企業に対する賃料補助を実施した。

また、連携する支援機関による説明会の開催や、入居企業の支援ニーズの把握のため、年2回支援機関の関係者との面談を実施し、各支援機関の有する支援メニューの紹介や活用に向けた支援を行った。

- ・補助金交付件数：10件



東北大学連携ビジネスインキュベータ（T-Biz）

(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

リサーチコンプレックス形成推進

リサーチコンプレックス推進室

(連絡先：022-214-4438)

令和6年度決算額：54,211千円

令和6年度の取り組み

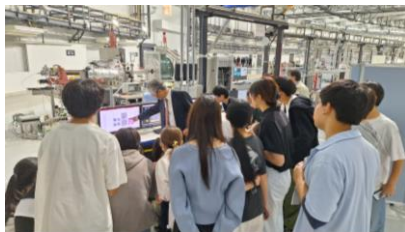
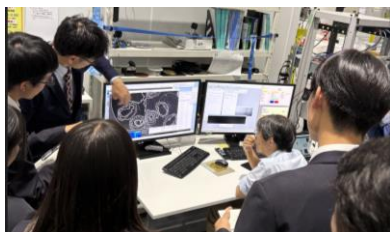
国内外の大学・企業などの研究開発部門が集積し、新たな価値創造の場となるリサーチコンプレックスの形成を推進するため、放射光施設「ナノテラス」の利活用促進や賃料補助などの企業立地を促進する事業を実施した。

プロモーション業務(市民・企業・学校教育)等

- ナノテラス利活用推進セミナーの実施：1回
111名参加（現地参加36名、オンライン75名）



- 教育分野におけるナノテラス活用事業
高校生による測定：3回（宮城農業、安積高校、古川黎明）
高校生による視察：3回（仙台一高2回、仙台工業高校）



研究開発拠点賃料補助

8件（目標10件）

リサーチコンプレックスの一翼を担う短期間集中型の研究開発企業の立地を促進するため、研究開発拠点へ賃料の一部を補助する。

- 補助額：賃料の1/3（上限10万円/月、最大3年間）
- 対象建物：アーバンネット仙台中央ビル

仙台市内にある東北大学の施設



アーバンネット仙台中央ビル
提供：NTT都市開発株式会社



東北大学サイエンスパーク
提供：東北大学

企業立地促進助成金

1件

仙台市への立地を促進するため、立地に関する新規投資に掛かる固定資産税等相当額を3～5年間に亘り、納税後に交付する。

(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

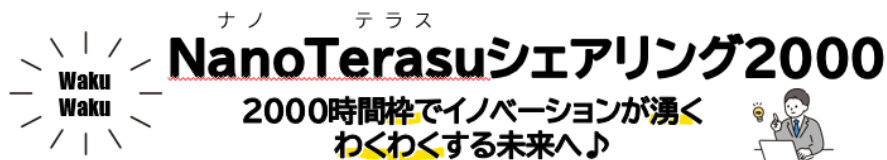
リサーチコンプレックス形成推進 (NanoTerasuシェアリング2000)

リサーチコンプレックス推進室

(連絡先: 022-214-3154)

令和6年度決算額: 54,211千円 (再掲)

令和6年度の取り組み



本市が取得したナノテラスを利用権(2,000時間/年)を企業・公設試等に活用いただき、ナノテラスの利活用促進を図る。

- 対象者と利用時間
 - ・ 国内の企業…24～48時間/年
 - ・ 本市に研究開発拠点を設置した企業…40～80時間/年
 - ・ 地場の公設試験研究機関による利用
 - ・ 高校生による利用

接触または相談した企業・団体 **121団体**

「NanoTerasuシェアリング2000」を利用する可能性が高い企業等に対し、接触または相談などを実施する。

放射光専門家による利活用支援 **23団体**

「NanoTerasuシェアリング2000」を希望する企業等に対し、放射光専門家による技術的な事前相談を実施する。

ナノテラス活用トライアルユース **10件 (目標10件)**

ナノテラスの産業利用の有用性を普及啓発するため、中小企業によるナノテラス利用の測定事例を創出する。

ナノテラス測定支援 **2件**

「NanoTerasuシェアリング2000」を利用する企業等に対し、測定にかかる経費の一部を補助する。

シェアリング2000利用実績 **388時間 (30団体)**

(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

地域企業課題解決マイスター事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

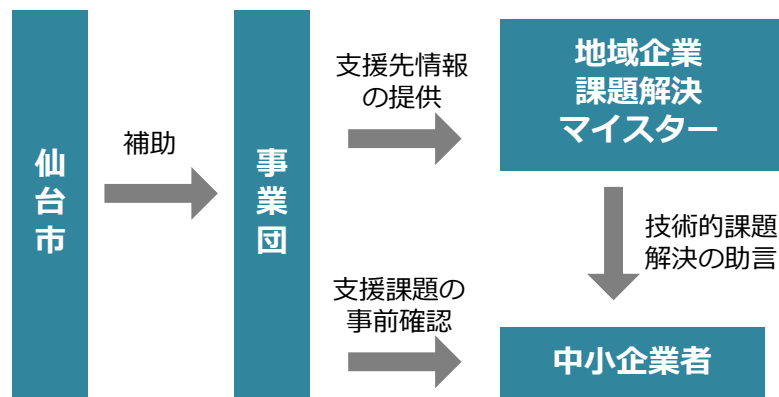
令和6年度決算額：13,680千円

令和6年度の取り組み

● 御用聞き型企业訪問

地域企業課題解決マイスター、仙台市産業振興事業団職員、仙台市職員及びビジネス開発ディレクターが企業を訪問して技術課題等を抽出し、解決に向けた助言等を行った。

・ 支援回数：42回



● 寺子屋せんだい

先端技術の活用方法や研究施設の紹介を踏まえた講義形式のセミナーを対面と現地で開催した。

・ 開催回数：7回、延べ142名が参加

● 産学連携専門家派遣

地域企業課題解決マイスターの専門外の技術分野について、大学教授等を産学連携専門家として派遣し、技術相談や助言、産学連携コーディネート等の実施により課題解決を図った。

・ 派遣回数：7回

(2) 学都の「知の力」を活かしたイノベーション創出

東北大学情報知能システム（IIS）研究センター 運営支援

産業振興課

(連絡先：022-214-3537)

令和6年度決算額：24,261千円

令和6年度の取り組み

地域産業・地域企業が抱える課題やニーズと、東北大学工学研究科電気・情報系約60の研究室が持つ先端技術シーズのマッチングを行った。

相談案件の課題解決・新ビジネスの創出に向けて、競争的資金獲得・研究開発・事業化まで一貫した支援を行った。

・ 打合せ件数

来訪：509件

訪問：806件

web：1,056件



(3) 地元中小企業の変革と成長促進

地域中核企業輩出集中支援

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和6年度決算額：49,647千円

令和6年度の取り組み

● 内容

- 地域中核企業への成長が見込まれる市内中小企業に対する経営課題解決等に資するコンサルティング支援
(支援者：デロイトトーマツ
ファイナンシャルアドバイザー合同会社)
- 経営課題解決等の取り組みへの費用補助
(補助率2/3、上限500万円)

● 支援による成果

- 課題設定型の伴走支援の実施により、今後の企業成長に必要なアクションが明確化
- 従前では実施していなかった経営目標の設定、M&Aの検討・実行、財務戦略の策定などを実施
- 営業・財務等の戦略立案やデジタル関連、PDCAサイクル構築等に必要な各種知見を提供しつつ、現場部署と連携のもと策定

● 実績

支援企業数：5社

支援実施回数：72回

集中支援補助金活用：4社

(1社は次年度に付替えし活用予定)



現地支援の様子



キックオフセレモニー



河北新報への記事掲載

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

地域企業スケールアップ補助金

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和6年度決算額：23,182千円

令和6年度の取り組み

競争力強化や変革の促進のため、新事業展開や生産性向上、高付加価値化、販路開拓、ブランディング等の取組みを行う市内の中小企業等に対して支援を実施した。

【支援内容】

- 補助対象経費の金額に応じた補助金の支給
- 仙台市産業振興事業団の専門家による伴走支援

【実施状況】

- 第1回
申請件数：19件
採択件数：4件
- 第2回
申請件数：62件
採択件数：6件

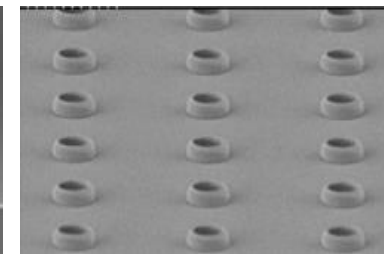
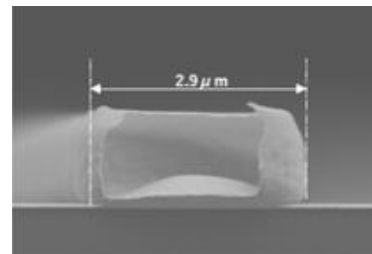


【採択事例】

- 医療機器業者が眼の健康セルフチェック機器の宣伝のための、新聞広告の掲載や、学会・展示会・各種イベントへの参加、自治体・企業への出張を実施。成約件数や問い合わせ件数が増加。



- 半導体デバイス製造業者が世界最小ピッチ金マイクロバンプ（半導体チップと基板を接続する突起電極）を作成し、電気的特性評価において隣接ピクセル間でショートすることなく積層に成功。



(3) 地元中小企業の変革と成長促進

地域中核企業プレゼンス向上支援

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和6年度決算額：9,000千円

令和6年度の取り組み

● 内容

- ・ 専用サイトを構築し、市内中小企業のロールモデルとなり得る企業の優れた取組等を紹介
- ・ 優れた取組等の紹介や企業間ネットワークの構築に資するイベント「SENDAI CORE COMPANYシンポジウム」の開催

● 目的

- ・ 優れた取組を行っている企業の認知度向上
- ・ 市内中小企業の変革機運の醸成
- ・ 市内中小企業のネットワーク構築、強化

● 実績

- ・ 専用サイトを開設し、全国各地のロールモデル企業の取り組み事例や集中支援先企業について紹介するとともに、イベント情報や支援制度についても随時発信
- ・ 「SENDAI CORE COMPANYシンポジウム」では市内中小企業が多数参加



専用サイト「SENDAI CORE COMPANY」



「SENDAI CORE COMPANYシンポジウム」

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

上場支援

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和6年度決算額：9,941千円

令和6年度の取り組み

● 内容

- 「仙台未来創造企業」認定企業（※）の上場準備段階に応じた個別支援
※仙台未来創造企業
…上場の実現性があり、上場実現に向けて集中的な支援を行う対象として昨年度までに本市が認定した企業（9社）
- 「上場型コーポレートガバナンス等整備支援事業」の新規支援先企業の選定及び個別支援（1社）
- 関係機関等と連携したIPO経営人材育成プログラムの実施

● 効果

- 地域内の上場企業の増加による地域経済の活性化
- 上場機運の醸成
- 企業の上場準備進展による組織体制の強化等

【目標】

支援企業数：13社程度（認定企業含む）

【令和6年度の実績】

- 各社の現状に応じた個別支援：12社に対して計118回
- IPO経営人材育成プログラムの実施：計7回

【本事業のこれまでの実績】

- 上場達成：3社
(TOKYO PRO Market2社、スタンダード1社)



上場達成企業の市長表敬の様子

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

プロフェッショナル人材活用による 中小企業の課題解決支援

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和6年度決算額：30,305千円

令和6年度の取り組み

自社の経営資源だけでは経営課題の解決が難しい市内中小企業と、優れたビジネススキルを持つ外部のプロフェッショナル人材をマッチングし、プロ人材と共に各企業が抱える経営課題の解決を支援した。

- ・ 支援企業数：14社

【支援内容】

- ・ プロ人材とのマッチング手数料等を仙台市が負担
- ・ 各分野における様々な経営課題に対して豊富な知見や経験を持つプロ人材をマッチング
- ・ プロ人材の支援が終了しても効果が継続できるよう、ノウハウの移管や経営改善を支援



【事例】

- ・ バックオフィス業務の非効率が課題となっていた飲食事業者に対し、業務改善とDX化に強みを持つプロ人材の支援により会計・労務管理システムを導入し、業務の自動化と一元管理を進めたことで、事務負荷の軽減と損益管理のリアルタイム把握を実現した。
- ・ 中核となる人事責任者の不在が課題だったキャリアショップ事業者に対し、キャリアコンサルタントとして多数の採用支援実績を持つプロ人材が支援を行い、求める人物像の言語化や採用広報の磨き上げを実施したことで、採用に至った。これにより、採用フローの内製化に向けた見通しが立った。



(3) 地元中小企業の変革と成長促進

中小企業変革応援

仙台市産業振興事業団 経営支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-214-7338）

令和6年度決算額：17,759千円

令和6年度の取り組み

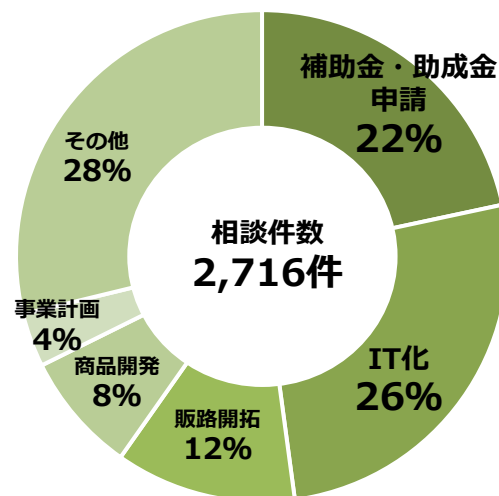
直面する多様な経営課題や事業変革の取組み、各種補助金の申請に関する中小企業・小規模事業者等からの個別相談に対して、各分野の専門家がワンストップで対応するとともに、経営に関する知識・ノウハウ等を体系的に学ぶセミナーを開催し、経営力強化のサポートを行った。

【支援内容】

- 各種給付金、補助金等の紹介、申請書等の作成支援
- 各種融資制度、その他支援制度の紹介
- ECサイト構築など非対面型ビジネスへの転換
- 事業計画の策定支援、資金繰りの確認
- 販路開拓、商品開発支援



【実績】



【主な申請支援対象補助金】

省力化投資補助金、持続化補助金、生産性向上促進補助金、再起支援事業補助金、IT導入補助金、事業承継・M&A補助金、業務効率化サポート補助金 等

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

事業承継促進

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和6年度決算額：526千円

令和6年度の取り組み

市内の事業承継を考えている経営者や後継者等を対象に、事業承継の必要性等を伝える啓発セミナー、経営者として必要な知識や心構えを学ぶ後継者育成スクール（後継者塾）、M&Aの知識を学ぶ第三者承継セミナーを開催した。

【参加実績】

- ・ 小さな会社の事業承継セミナー 30名
- ・ せんだい事業承継セミナー 18名

主催：仙台商工会議所・仙台市・日本政策金融公庫仙台支店・仙台市産業振興事業団



昨年好評につき今年も開催！

承継後のライフプラン実現に向けた事業譲り渡しのススメ

小さな会社の事業承継セミナー

日時 2024 **9.18** (水) 15:30～17:45

会場 仙台商工会議所 仙台市青葉区本町2-16-12

対象 主に60才以上の個人事業主、中小企業の経営者・親族
※60才以下の経営者の方もご参加いただけます。

参加費 無料

事業を長年続けてきた経営者のみなさんの中には、何年後、何歳には引退をしたいとお考えになられている方、あるいは生涯現役とお考えの方いらっしゃるかと思います。本セミナーでは、事業引退後のライフプランの立て方や、生涯現役とお考えの方には人生100年時代と変わらないうちで今後の暮らしを意図したマネープランについてご案内します。そのうえで、事業を引き継がせるためにはどのように準備を進めたいのか、自分の代で事業を続けたいと思っている方についてはどのように準備を進めたいのか、また、後継者がいない場合の事業の譲り渡しという選択肢についてもご案内します。

事業承継支援のノウハウが、成功事例と失敗事例を繰り返しながら、優しく伝えます。

せんだい事業承継セミナー

～今こそ人生を考える時！コロナが変えた社会で生きるための事業承継の手法～

テーマ いちばん優しい事業承継セミナー
豊富な支援事例に加え、71歳で会社を事業承継した自分の事例もご紹介

内容 1,000件を超える実績をもつ事業承継支援の「バイオニア」が、「事業承継の手順を知りたい」経営者の皆さまに、優しくお伝えします！

- 「事業承継ガイドブック」を無料でご提供
- 当日記入しながら承継のプロセスを把握
- 他社の成功例、失敗例の理由を確認
- 後継者の選定、育成のポイントも解説

講師 1,000件を超える実績を築き、経営者と後継者を「会社の未来」へと優しく導きます！
事業承継支援のバイオニア 内藤 博氏
事業承継センター株式会社（バイオニア・コンサルティング）、一般社団法人事業承継協会 代表理事
資格：事業承継士・事業承継プランナー・中小企業診断士

20年を超える経験と「働きとる経営者」の視点から、事業承継支援の専門家、経営者に寄り添うコンサルティングとして中小企業に累計18年度に渡り、事業承継センター（株式会社）を通じて、事業承継を実現、ハッピーライフ事は生涯現役で実現に立つ、一般社団法人事業承継協会、「事業承継士・事業承継プランナー」の認定。

★ガイドブックをプレゼント！
実際にノートに書き込みながら考える事で、ご自身の事業承継計画を見える化できます。

日程 2024年 **11月13日** (水) 15:30～17:00 会場 仙台商工会議所 (仙台市青葉区本町2-16-12)

■定費：30名（先着順、定員になり次第締切） ■申込締切：2024年11月6日
■対象：事業承継を検討されている経営者、後継者およびその関係者

申込方法 下記二次元コードまたはお電話にてお申し込みください。電話：022-265-8127
（二次元コードよりお申し込みされた場合は、お申し込み後に受付確認の自動返信メールが届きます。届かない場合はお手数ですが事務局までご連絡ください。）

お問い合わせ 仙台商工会議所 専門係 022-265-8127 mail: kasei-ai@sendaicci.or.jp 090-2614-8127 仙台市青葉区本町2-16-12

主催：仙台商工会議所・仙台市・日本政策金融公庫仙台支店・仙台市産業振興事業団 共催：宮城第一信用金庫



小さな会社の事業承継セミナー

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

販路開拓エコシステム推進事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1005)

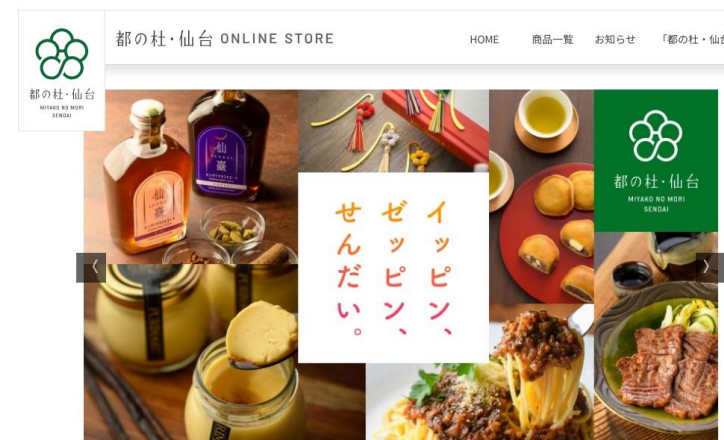
令和6年度決算額：7,331千円

令和6年度の取り組み

市場環境の変化や販売機会の減少に苦しむ地元中小企業に対して、域内外の関係機関が各々の強みを生かし連携して支援を行う「エコシステム」を構築し、ECサイトの運営や仙台市内での販売会開催、卸売事業者と連携した商談支援、首都圏展示会出展等を通じて、市内事業者の域内外への販路開拓を進めた。

【主な支援実績】

- | | |
|-------------------|-------|
| ・ ECサイト出品事業者数 | 21社 |
| ・ 販売会出品事業者数 | 延べ39社 |
| ・ 卸売事業者を通じた商談事業者数 | 延べ19社 |
| ・ 首都圏展示会への出展 | 6社 |



ECサイト



販売会



展示会

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

新商品・新サービス開発支援

仙台市産業振興事業団 販路開拓支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1125）

令和6年度決算額：4,089千円

令和6年度の取り組み

付加価値の高い新商品または新サービスの開発を行おうとする事業者を対象に、マーケッターやデザイナーなど複数の専門家によるチーム支援を行った。

・開発件数：5件

【支援内容】

- ・ リサーチ・デザイン費等の支援
- ・ 専門家チームによる支援
- ・ リサーチからプロモーションまでの一貫した支援フロー



専門家との打合せの様子



支援で誕生した新商品（一部）

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

新東北みやげコンテスト開催

仙台市産業振興事業団 販路開拓支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1125）

令和6年度決算額：5,027千円

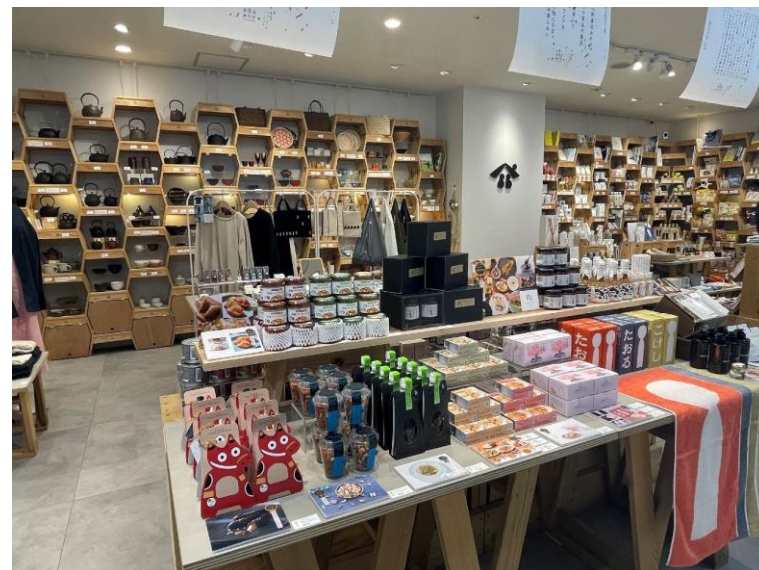
令和6年度の取り組み

東北の地域性を生かしたみやげ品の知名度向上・販売促進を目指し、審査会を兼ねた商品展示会を開催した。また、受賞商品を中心とした域内外での販売会実施、商品のPR等を実施した。

- | | |
|--------------|---------------|
| ・ エントリー商品数 | 267件 |
| ・ 販売会開催回数 | 3回 |
| ・ マスメディア掲載件数 | 10件以上 |
| ・ 商談件数 | 258件（うち成約70件） |



R6年度最優秀賞 まるごと牡蠣ソースセット
(FISHERMAN'S KITCHEN)



販売会の様子

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

バイヤーとの個別マッチング支援

仙台市産業振興事業団 販路開拓支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1125）

令和6年度決算額：1,150千円

令和6年度の取り組み

産業振興事業団に「販路開拓コーディネーター」を配置し、オンライン商談カタログ『SELECT TOHOKU』を活用しながら、仙台地域内外のバイヤーとのビジネスマッチングを実施した。

- ・ 支援企業数：133社
- ・ 商談件数：165件
- ・ 商談成約件数：85件

【主な支援実績】

支援先企業	マッチング成約先	成約内容
食品製造業者 （仙台市）	ギフトカタログ製作 （東京都）	畜産品が法人向け贈答品として採用された。
輸出商社 （仙台市）	百貨店 （台湾）	飲料や菓子類等が台湾の百貨店にて販売することとなった。
調味料製造業者 （宮城県）	催事出店業者 （大阪府）	調味料が百貨店等の催事を運営する業者にて取扱いすることとなった。
雑貨製造業者 （仙台市）	温泉旅館 （宮城県）	アパレル雑貨を旅館内の売店にて取り扱うこととなった。

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

中小企業融資預託

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和6年度決算額：17,207,000千円

令和6年度の取り組み

国の保証制度を活用した低利・固定金利・長期返済期間の融資制度を構築し、市及び信用保証協会が地元中小企業の信用補完と貸倒れの際の金融機関の損失補償を行うことで、地元中小企業の資金調達の円滑化を支援した。

【令和6年度の融資実績】

区分	預託額 (千円)	損失補償額 (千円)	融資件数 (件)	融資額 (千円)	融資残高 (千円)
中小企業 育成融資	13,606,000	95,626	497	9,601,776	40,306,635
小規模企業 小口融資	426,000	5,627	86	408,223	1,102,483
地域産業 活性化融資	277,000		2	100,000	369,555
新事業創出 支援融資	2,519,000	8,750	291	2,205,397	4,606,201
一般社団法人等 支援保証融資	379,000	6,357	15	130,430	366,624
計	17,207,000	116,360	891	12,445,825	46,751,498

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

東北地域ものづくり企業連携

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和6年度決算額：440千円

令和6年度の取り組み

● 東北・北海道・首都圏地域産業支援機関連携会合

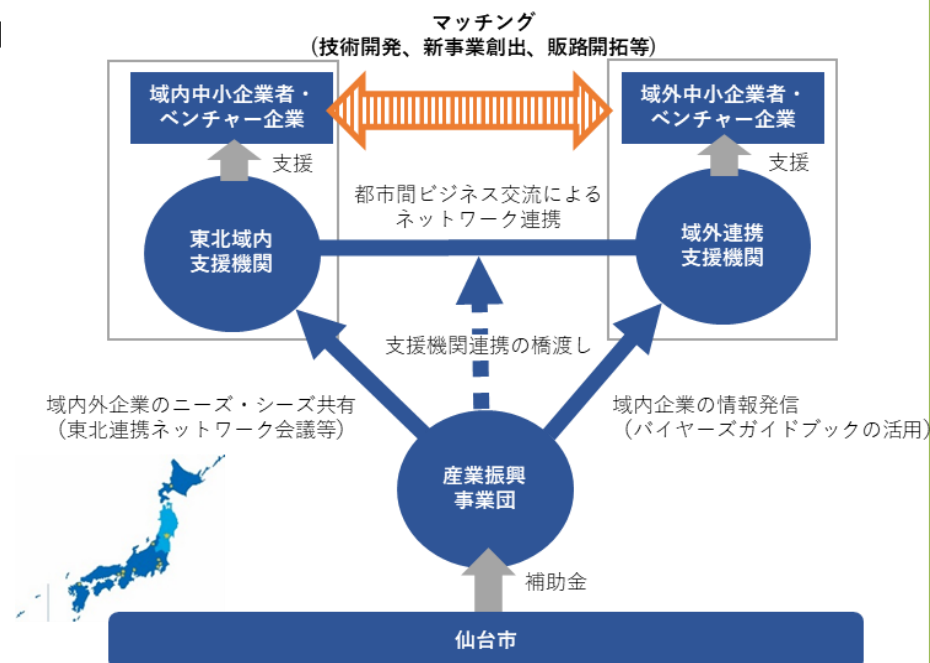
東北域内ものづくり企業のマッチングを促進するため、「東北・北海道・首都圏地域産業支援機関連携会合」を開催し、各機関の事業及び地域ものづくり企業のニーズ・シーズについて域内外支援機関と情報交換を行った。

- ・ 本事業による企業間のマッチング件数：24件
- ・ 本事業による成果（経済効果）：115,770万円



東北・北海道・首都圏地域産業支援機関連携会合

【スキーム】



(3) 地元中小企業の変革と成長促進

起業支援センター運営等

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和6年度決算額：38,682千円

令和6年度の取り組み

起業予定者に対して、窓口やオンラインでの専門家による様々な助言（起業準備、資金調達、販促、事業計画、企業形態、経理等）を行うとともに、各分野の専門家を一堂に集めた合同相談会や、起業に必要な知識・ノウハウを起業家の課題・段階に応じて説明する各種セミナーを定期的で開催することで、起業活動の促進を図り、開業後の状況把握・経営課題解決に向けたフォローアップを行った。

令和3年6月に国家戦略特区を活用して開設した「仙台市開業ワンストップセンター」にて、専門家による開業手続き相談、オンライン申請支援を実施した。

- ・ 開業前相談：1,461件
- ・ 開業後相談件数：855件
- ・ セミナー開催回数
（起業家セミナー：12コース25回開催）
（アシ☆スタ ビジネススクール：4コース13回開催）
- ・ 開業支援件数：119件
- ・ 開業ワンストップセンター法人設立支援件数：46件



起業家セミナー イメージ



開業ワンストップセンター

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

成長のための海外展開支援

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和6年度決算額：6,437千円

令和6年度の取り組み

海外での展示会出展による商品のテストマーケティングや現地市場調査、商談機会の提供を通じて、新規販路開拓に取り組む中小企業の支援を行った。

- ・介護系展示会「AT Life」 参加事業者 2 社
- ・食品系展示会「FOOD TAIPEI」 参加事業者 2 社
- ・工芸品系展示会「CREATIVE EXPO」 参加事業者 9 社

【支援内容】

- ・台湾での介護系や食品系、工芸品系の展示会に出展し、現地のマーケットニーズ調査、現地の小売店や商社、輸出支援事業者等バイヤーとの商談機会を提供



AT Life



FOOD TAIPEI



CREATIVE EXPO

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

海外販路開拓チャレンジ支援助成金

産業振興課

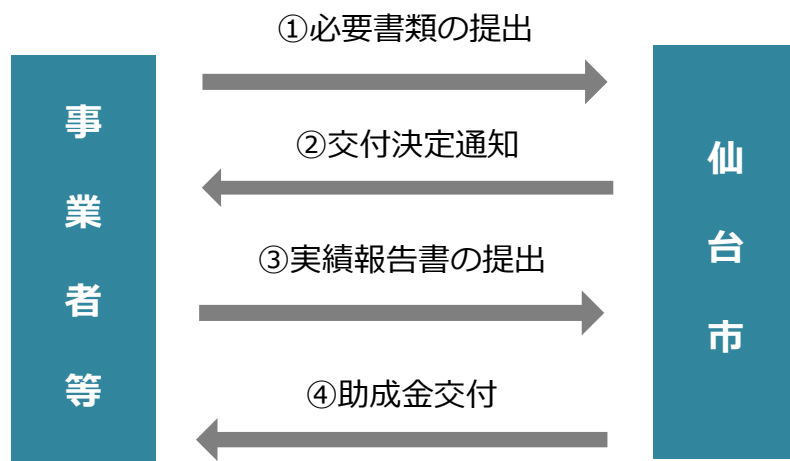
(連絡先：022-214-1005)

令和6年度決算額：8,570千円

令和6年度の取り組み

市内企業が海外販路開拓事前準備及びFS調査、電子商取引、国際見本市出展、輸出などを通じて海外市場開拓へ参入することを促進し、本市経済の国際化・活性化を図った。

・助成金利用件数：26件



市内企業の海外市場開拓を促進し、本市経済の国際化・活性化を図るため 海外への販路開拓の経費を助成します	
仙台市海外販路開拓チャレンジ支援助成金	
対象経費の2分の1又は3分の2・上限10万円～100万円	
■期 間	
令和6年4月1日～令和7年3月1日 ※令和7年3月1日までに事業の実施及び経費の支払いが完了するものに限り、 ※予算の執行状況により、予告なく終了する場合がございます。	
■対象者	
仙台市内に主たる事業所又は事務所を置く中小企業者 ・同一年度内に未要領による助成を受けていない方 ・申請者が個人の場合には、本市の市税を滞納していないこと ・申請者が個人以外の場合には、法人の市民税及び事業所に係る市長に対する申告（当該申告の義務を有する者に限る。）を行い、かつ、本市の市税を滞納していないこと ・みなし大企業（同一の大企業で資本金の2分の1以上を占めている企業、複数の大企業で資本金の3分の2以上を占めている企業又は大企業の役員総数の2分の1以上を占めている企業）でないこと ・暴力団等と関係をもっていない者 ・公的機関等から同一の経費区分に関する助成を受けていない者	
■対象事業	
・海外販路開拓事前準備及びFS調査に係る事業 ・海外への電子商取引等に係る事業 ・国際見本市出展に係る事業（海外オンライン出展含む） ・輸出に係る事業 ※仙台市輸出入チャレンジ支援助成金交付要綱（平成29年4月1日経済局長決裁）及び本要綱による助成金交付回数を含むして通算5回を限度とします。 ※対象事業の対象経費については、裏面をご覧ください。	
■助成率・助成上限額	
対象経費の2分の1又は3分の2で上限10万円～100万円 [ジェトロ、中小機構、JICAの支援事業に採択されたものについては、最大100万円] 申請者が初めて海外販路開拓事業に取り組む場合は、条件により最大50万円又は100万円 ※条件や、重点産業・重点地域の該当によって助成率や助成上限額が異なります。 ※詳細は、 https://www.city.sendai.jp/jigyosha/shien/gyosha/keza/jigyosha/shien/documents/subsidy.pdf をご覧ください。	
申込み・ お問い合わせ先	担当部署：経済局イノベーション推進部産業振興課国際経済室 住 所：〒980-0803 仙台市青葉区関分町3-6-1仙台パークビル9階 電 話：022-214-1005 E-mail: kei008030@city.sendai.jp

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

福祉機器等アジアビジネス展開支援

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和6年度決算額：4,540千円

令和6年度の取り組み

医療・機器を取り扱う市内事業者に対して、今後高齢化が進む福祉ASEAN諸国へ輸出するための支援を実施。タイ・バンコクで行われたヘルスケア・福祉用品展示会である「Intercare Asia 2024」に本市ブース出展を行い、事業者の海外展開支援を行った。

また、タイ現地の医療機関や介護施設等の視察を行い、事業者と現地施設のネットワーク構築を支援した。

- ・ 海外展示会出展：1件
- ・ 販路構築サポート：3件



Intercare Asia 2024 仙台市ブース



タイ介護施設でのプレゼンの様子

(3) 地元中小企業の変革と成長促進

仙台－タイ経済交流サポートデスク運営

産業振興課

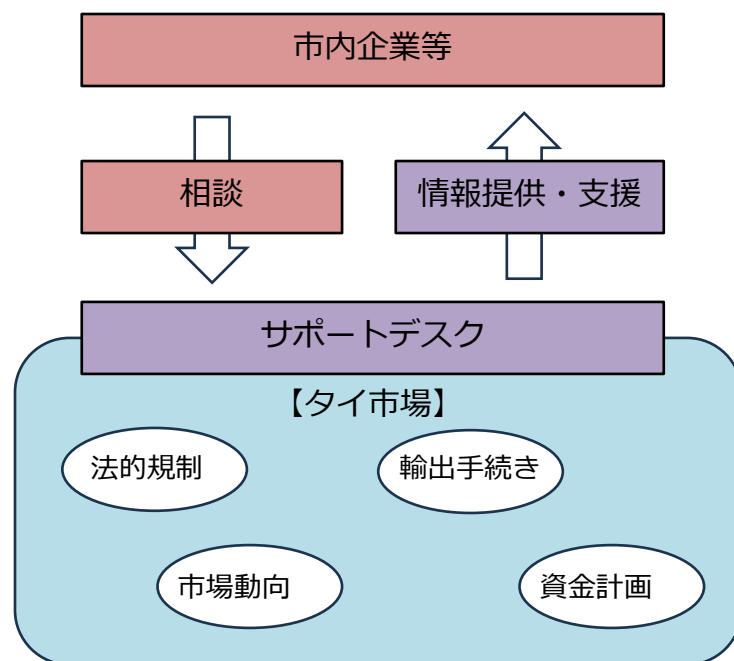
(連絡先：022-214-1005)

令和6年度決算額：1,609千円

令和6年度の取り組み

タイ・バンコク都に「仙台－タイ経済交流サポートデスク」を設置し、タイへの製品・技術等の販路開拓を希望する市内企業等の個別の相談に乗りながら、それぞれのニーズに合わせた支援を行うことで、市内企業等のタイへの輸出・進出の促進を図った。

・相談企業件数：10社、23件



個別の相談だけでなく、市内事業者のタイ訪問先への同行サポートや、国際展示会に出展する事業者のブースを個別訪問し、情報提供やサポート体制の周知などを行った。



(3) 地元中小企業の変革と成長促進

海外展開推進事業

産業振興課

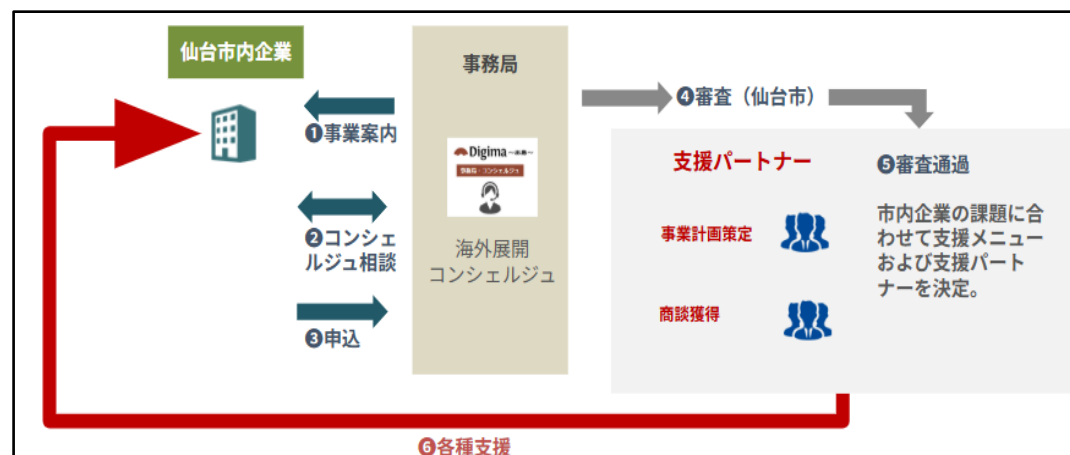
(連絡先：022-214-1005)

令和6年度決算額：22,605千円

令和6年度の取り組み

魅力的な製品・サービス等を持つものの海外展開に取り組んでいない市内企業を中心に裾野の拡大を図り、企業の収益力の維持・拡大を図るべく、海外販路開拓に向けた事業計画策定、商談獲得を専門家が伴走する支援を行った。

- ・ 事業計画策定支援申込事業者：25社
- ・ 商談獲得支援申込事業者：9社（11件）



食やテキスタイルなど様々な業種の事業者が海外販路開拓の一步を踏み出した。



(4) 「防災環境ビジネス」の推進

BOSAI-TECHイノベーション創出促進

産業振興課

(連絡先：022-214-3537)

令和6年度決算額：46,914千円

令和6年度の取り組み

BOSAI-TECHイノベーション・エコシステムの形成を通じて、仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指し、産学官金連携組織の「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を設立し、「防災関連事業の創出や事業化を支援するプログラム」や「防災関連の技術紹介、ビジネスマッチングの機会を提供するイベント」を開催した。



- ・仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム
参画団体数：280団体（令和7年3月31日現在）
- ・仙台BOSAI-TECH Future Awards（防災課題探求プログラム） 応募者数：22社37名 参加者数：32名
- ・仙台BOSAI-TECH Open Bridge（事業創出プログラム） 応募件数：24社 採択企業数：7社
（ソリューション発表会：44名参加）
- ・実証実験支援・試作開発支援プログラム(事業化支援プログラム) 応募件数：12件 採択件数：6件
- ・「Step Abroad!」(JICA連携海外展開支援プログラム)
個別相談企業数：3社
- ・仙台BOSAI-TECH Lounge（会員の交流促進イベント）
開催回数：2回 参加者数：146名（延べ）
- ・仙台BOSAI-TECHカンファレンス2025（防災関連の技術紹介、ビジネスマッチングイベント）
登壇者数：2団体 視聴者数：116名

(4) 「防災環境ビジネス」の推進

GX促進関連融資に係る国の利子補給事業 連動型給付金・信用保証料補給

中小企業支援課
(連絡先：022-214-1003)
令和6年度決算額：0千円

令和6年度の取り組み

● 国の利子補給事業連動型給付金

国が実施する利子補給事業を活用して省エネ・再エネ設備投資等に取り組む中小企業に対して、当該事業の対象融資にかかる利子の自己負担額相当分を給付金として支給する。

【給付金の対象となる国の利子補給事業】

- ・ 省エネルギー設備投資利子補給金（経産省）
- ・ 地域脱炭素融資促進利子補給事業（環境省）

【給付額】

償還約定表等に定められた当初年利の5年間の利子相当額から国の利子補給相当分（最長5年間）を差し引いた額

※給付上限額：一事業者当たり500万円

【目標】 給付件数：2件

【実績】 給付件数：0件

● 信用保証料補給

本市制度融資を活用して省エネ・再エネ設備投資等に取り組む中小企業のうち、宮城県信用保証協会からの保証を受ける者

【補給対象融資】

杜の都・GX促進資金

※地域産業活性化融資のうち、省エネ・再エネ設備投資等に係るもの

※融資限度額：1億円、利率：1.0%、期間：15年（運転・設備）、保証料率：保証協会所定

【補給額】

当初支払い保証料額の1/2

【目標】 給付件数：2件

【実績】 給付件数：0件

(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

ウェルビーイング産業創出促進

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和6年度決算額：36,498千円

令和6年度の取り組み

介護分野とテクノロジーを掛け合わせて新製品を開発する「CareTech推進事業」とヘルスケア分野とテクノロジーを掛け合わせて新製品を開発する「HEALTH TECH推進事業」を統合し、「ウェルビーイング産業創出促進事業」として実施。

ウェルビーイング分野における諸問題を解決し、仙台・宮城のさらなる産業発展に資する事業者のアイデア・取組への支援を実施した。

【支援内容】

- ・製品やサービスの開発費用の一部を支援
- ・専門家による伴走支援 等

【実績】

- ・支援件数：5件

内訳：課題提案プログラム（国内枠、海外枠）各1件

継続支援プログラム 2件

行政課題プログラム 1件

【支援事例】

高齢者を見守る多機能センサーを東南アジアの高齢化が進む国向けに現地言語への変更などのローカライズを実施。加えて、現地の市場やニーズの詳しい調査により、日本と違い映像での確認ニーズが高く、カメラ機能を新たに搭載して現地ニーズに対応。



海外法人とのオンライン
打ち合わせの様子



現地ニーズに合わせて
開発した見守り機器

(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

中小企業新製品等開発支援補助金

産業振興課

(連絡先：022-214-3532)

令和6年度決算額：12,000千円

令和6年度の取り組み

新事業創出及び高付加価値化を目指し、克服すべき技術的課題を解決するため、市内の中小企業が行う新製品・サービスの開発に対する補助金を交付した。

6社より地域や社会の課題解決に資する先端ロボティクス関連、またはIT関連の新たな製品・サービスの開発にかかる申請があり、有識者による審査委員会を通じて、5社を採択した。

No	企業名	事業計画名称
1	株式会社MAKOTO Prime	中小組織向け生成AIツール「カルクワークス」の基盤機能強化および新規アプリの実装
2	テクノウイング株式会社	中小企業がデータを戦略的に使える「AIによる視覚的意思決定支援システム」
3	株式会社ProSma	マンション専用内装インテリア生成AI
4	株式会社エスクルー	建築構造物（ビル等）の外壁検査システムの開発～打検センサーの利用～
5	株式会社キューテスト	“孤育て”解決！子育て世代がいつでもサービスと繋がるプラットフォーム「みんファミ」

(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

生産性向上支援パッケージ

中小企業支援課

(連絡先：022-214-8772)

令和6年度決算額：289,987千円

令和6年度の取り組み

デジタル活用・従業員のスキルアップ・現場課題の本質に即した計画的な業務改善等を図ることで、市内中小企業の生産性向上に向けた取り組みの支援を行った。

事業名	概要
(IT、生産性) ブースト補助金 ITベンダー助成金 デジタル化サポート補助金	国のIT導入補助金のさらなる活用や市独自の補助金活用によってデジタル化を後押しした。 (実績) ブースト補助金：405件、ITベンダー助成金：10件、 デジタル化サポート補助金：57件
情報系資格取得支援補助金	従業員に「ITパスポート」試験を受験させる場合に要する経費の一部を補助することで、デジタル人材の育成を図った。(実績) 9件
生産性向上ロールモデル創出事業	デジタル活用と経営改善の知見を併せ持つ専門家を派遣し、課題分析から目標設定、解決手段としてのデジタルツールの選択・導入と定着を伴走支援し、中小企業のデジタル活用による生産性向上のロールモデルを創出した。 (実績) 支援事業者：15社
生産現場改善支援事業	みやぎ産業振興機構の「生産現場改善強化支援事業」と連携し、生産現場の工程改善等のノウハウを提供するセミナーや事例紹介を行った。
仙台市生産性向上・賃金引上げ応援金	賃金引上げや業務改善など労働環境の整備を促進するため、国の業務改善助成金を活用する市内中小企業者に対し、上乗せ補助を行った。 (実績) 126件
仙台市リスキリング推進応援補助金	人材開発支援助成金の活用にあたり、訓練実施計画の策定や申請事務を社労士等に委託した際の費用の一部を助成した。(実績) 42件

(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

IT企業プロモーション支援

産業振興課

(連絡先：022-214-3532)

令和6年度決算額：7,544千円

令和6年度の取り組み

● IT産業振興に係る情報発信事業

IT産業に関わる(又は興味をもつ)市域内外の人々の交流等のつながり創出・強化により、本市におけるIT産業の更なる活性化及びIT人材の地元定着・UIJターンの促進を図るため、Webサイト「SENDAI INC.」を使った情報発信を行った。

SENDAI INC.にて、地域で活動するITコミュニティやそれに関わる人、地域で活躍するIT企業に関連する様々な情報を掲載すること等により、本市がIT産業に関わる人々にとって魅力的な都市であることを発信した。

・掲載コンテンツ数：6件



SENDAI INC.
SENDAI IT Native City

webサイト「SENDAI INC.」



(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

地域IT人材確保支援

産業振興課

(連絡先：022-214-3532)

令和6年度決算額：3,399千円

令和6年度の取り組み

市内IT企業の認知度を高め、人材確保を支援することを目的に、学生・若者等に対してオンラインにより、「IT業界啓発イベント」及び「IT業界合同企業説明会」を開催した。

- ・IT業界啓発イベント

ハイブリッドイベント

参加者数：リアル 21名 オンライン 18名

学校タイアップイベント 参加者数：99名

- ・IT業界合同企業説明会 参加企業数：30社

参加者数：40名



IT業界啓発イベント



仙台市
SENDAI CITY

仙台のIT企業
約**30**社が参加!

SENDAI IT CAREER WEB

📶 オンライン開催
IT業界合同説明会

オンライン会議サービス「Zoom」を利用し、
仙台市内に拠点を持つIT企業が、
事業内容や自社の魅力についてお伝えします。

2024

12/6
(金)
7/8
(土)
日

(12/6) 15:00~19:10 (12/7) 9:30~18:50

仙台のIT企業
働きやすい方必見

抽選で
50名に

3社以上の企業説明会に参加した方の中から /
デジタルギフト
giftee Box 500円分 プレゼント!!



主旨 2026年卒を含む仙台市内でIT人材(エンジニアやデザイナー等)として働くことに関心のある全県の学生

企画者 PCまたはスマートフォン
※PCを携帯していない方は、30分程度貸与で対応いたします。IT人材の採用を促すためです。
※スマートフォンがなくてもzoomアプリのダウンロードが可能です。

期日	自由	参加費	仙台市内に本社または事業所のあるIT企業
主催	仙台市経済雇用イノベーション推進部 産業振興課		
協賛	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会、東北危機情報サービス産業協会、一般社団法人マシニングナレッジ研究会		

タイムテーブル・エントリーはこちら



<https://sendaitatitai.jp/information/giftbox>

【問合せ】 仙台市経済雇用イノベーション推進部(株式会社MICO内) TEL 922-214-2137 Mail: info@sendaitatitai.jp
 ※この募集は、株式会社MICOが仙台市庁舎から移転を受けて開催する事業です。

IT業界合同企業説明会

(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

IT活用推進事業補助

仙台市産業振興事業団 経営支援課（産業振興課）

（連絡先：022-214-8772）

令和6年度決算額：19,017千円

令和6年度の取り組み

国家戦略特区に認定されている「仙台テレワークサポートデスク」を通じて、テレワーク導入の支援を行った。

IT活用による地域の中小企業者のデジタル化を推進し、新たな市場の開発や生産性向上などによる経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー等を実施した。

地域企業を対象としたデジタルツールやテレワークの体験機会を提供するデジタル化体験イベントに出展し、展示やセミナーを実施した。

ITツール等を活用した業務効率化による生産性向上・競争力強化への取組みを補助する「仙台市地域企業デジタル化サポート補助金」及び「仙台市地域企業業務効率化サポート補助金」において、専門家によるコンサルティングを行った。

- ・仙台テレワークサポートデスク相談件数：395件
- ・セミナー参加者数：延べ81名
- 利用者満足度：平均85.5%
- ・補助金コンサルティング件数：400件



仙台テレワークサポートデスク



IT導入・利活用セミナー

(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

次世代X-TECHビジネス創出促進

産業振興課

(連絡先：022-214-3532)

令和6年度決算額：43,449千円

令和6年度の取り組み

AIを始めとする先端IT技術を活用した付加価値の高い新たなビジネス創出・既存事業高度化を目的として、経営層向けのセミナーやビジネス創出ワークショップ等のプログラムを実施した。

AIを始めとする先端IT技術を活用したビジネス創出に取り組むことができる人材を育成するため、AI等に関する基礎的/専門的な知識や技術を学ぶ教育プログラムや普及啓発セミナー等を実施した。



- ・経営層向けキックオフイベント参加者数：141名
(リアル60名、オンライン81名)
- ・AI・データ利活用ビジネス創出セミナー
参加者数：58名
- ・AIビジネス創出ワークショップ 参加者数：16名
- ・AI・データ利活用ビジネス創出WS 参加者数：10名
- ・PBL 参加者数：14名
- ・AI・データ利活用ビジネス創出（個別メンタリング）
参加企業数：7社
- ・仙台X-TECHイノベーションアワード2025
参加者数：143名（リアル72名、オンライン71名）
- ・人材育成プログラム：延べ 115名
- ・レクチャーシリーズ：延べ 151名

(5) DXによる経済成長と暮らしやすさの向上

先端デジタル技術（AI・ブロックチェーン・量子等）ユースケース創出促進

産業振興課

（連絡先：022-214-3532）

令和6年度決算額：8,960千円

令和6年度の取り組み

- 先端テクノロジーを活用した製品・サービスのプロジェクトの実施委託・実施支援
 - ・ 想定ユーザーの募集・調整、実証フィールドの選定・調整
 - ・ 想定ユーザーとの協働による開発及び実証実験等の実施
 - ・ 実証実験等の結果の取りまとめ、ブラッシュアップ方針の策定
- ユースケース報告書の作成

【目標】

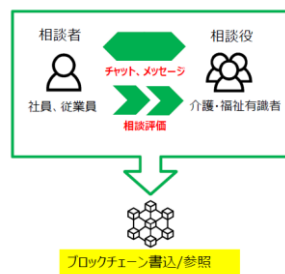
採択件数：3件

対象分野：AI、ブロックチェーン、
量子コンピューティング から各1件

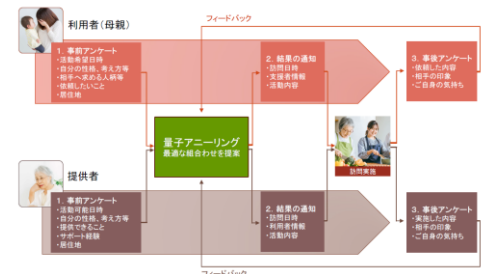
【スキーム】



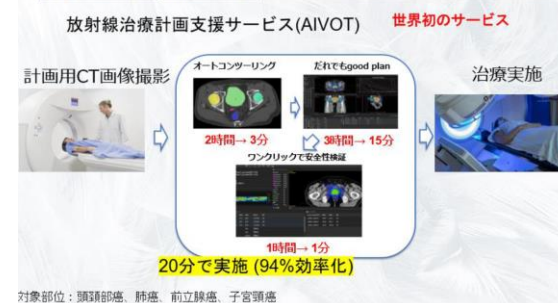
<システム動作イメージ>



実証実験等の実施内容（サービスフロー）



・ 解決すべき課題/市場ニーズ



(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

企業立地促進

企業立地課

(連絡先：022-214-8276)

令和6年度決算額：779,052千円

令和6年度の取り組み

首都圏を中心とした企業に対し、直接訪問やオンラインミーティング等を活用し、本市の立地環境や各種支援施策のPRを行った。

市長による企業訪問や、本市に進出した企業の立地表明式を開催するなど、市長の積極的な働きかけにより誘致効果の向上を図った。また、企業誘致プロモーション動画を作成し、市長のコメントや本社を移転した企業代表者へのインタビューを収録するなど、本市の立地環境の優位性を広くPRした。合わせて英語版も作成し、国外企業にも対応できるものとした。

また、企業立地促進助成制度等を活用し、本市への企業立地を促進した。

- ・ 訪問件数：93社（オンラインミーティング含む）
- ・ 立地件数：33件



市長のトップセールス



立地表明式



企業誘致プロモーション動画

(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

頑張る商店街応援

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和6年度決算額：10,384千円

令和6年度の取り組み

イベント事業や、商店街のイメージ創出を図る取り組み、個店・地域資源の魅力を発信する取り組み等を行う意欲のある商店街に対し支援を行い、地域のにぎわい創出と売上向上を図った。

- 支援対象団体へのアンケートにおける「商店街活性化に資する」旨の回答割合：90%

- 通常枠：14件
- テーマ枠：16件
- チャレンジ枠：4件



通常枠活用事業の例
(仙台朝市商店街振興組合：仙台朝市感謝祭)



テーマ枠活用事業の例
(薬師堂商興会：薬師堂ハロウィンマルシェ)



チャレンジ枠活用事業の例
(長町商店街連合会：長町ビアガーデン 2024)

(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

外部人材との協働による中心部商店街 実証実験

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和6年度決算額：3,681千円

令和6年度の取り組み

商店街通りから一本入った通りを活用し、新たな賑わいや回遊性の創出を図ることを目的に、東北学院大学と連携し、「新伝馬町公園通りフェス」等を実施した。

- 新伝馬町公園通りフェスは、車両侵入禁止とした上で実施。来場者数は2,000人超を記録。
- クリスロード商店街振興組合「ハロウィンパレード」と連携し、新伝馬町公園通りへの仙台四郎のオブジェの展示やこども向けアトラクションの実施などの試みを行った。



「新伝馬町公園通りフェス」の様子



「ハロウィンパレード」の様子

(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

選ばれるお店づくり支援

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和6年度決算額：1,371千円

令和6年度の取り組み

外部専門家を講師に招き、店舗改善のための講演会を開催するとともに、参加店舗を募り、ワークショップ及び店舗改善の支援を行った。

- ・ 講演会参加者数：127名
- ・ ワークショップ等参加店舗数：6店舗
- ・ 講演会参加者へのアンケートにおける「満足した」旨の回答割合：94%、「新たな知識やスキルを得られた」旨の回答割合：94%



店舗改善の例

(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

一番町四丁目拠点性向上

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和6年度決算額：7,500千円

令和6年度の取り組み

令和6年9～11月に、一番町四丁目商店街における夜間の集客イベント「Bang BAR SENDAI」を初めて開催するとともに、12月には、スピンオフ企画として「SENDAI Christmas VILLAGE 2024 by Bang BAR SENDAI」を開催した。

- ・ 開催日数：計10日間（9～11月）
- ・ 来場者数：9,024人（9～11月）
- ・ 来街者満足度アンケートにおける「今後も商店街を訪問したい」旨の回答割合：90.4%



「Bang BAR SENDAI」の開催時の様子



「SENDAI Christmas VILLAGE」で設置された
イルミネーションツリー

(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

国分町誘客強化

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和6年度決算額：2,247千円

令和6年度の取り組み

一般社団法人国分町街づくりプロジェクトによる、日英併記の国分町ガイドブックの作成支援を行い、掲載店舗に加え、宿泊施設等への設置を行った。

- 支援対象団体が実施した参加店へのヒアリングの結果：
「ガイドブックを見て来店したというお客様がいた」
「県外から来たお客様がガイドブックを見たと言っていた」
「直接お客様に聞くことはできなかったが、ガイドブックの集客効果を感じている」といった声があった。



日英併記の「国分町ガイドブック」

(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

商店街交流促進

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和6年度決算額：420千円

令和6年度の取り組み

市内商店街が最新の活動状況等について情報交換する交流イベント「商店街サミット」をリアル参加、オンライン参加のハイブリッド形式にて開催し、各商店街が取り組む事業活動や抱える課題を共有する機会を創出することで、商店街間のネットワーク強化等を図った。

- ・ 令和6年度幹事商店街：原町東部商店会
- ・ 参加商店街数：7商店街



(商店街サミット) 参加商店街からの事例発表

また、スピンオフ企画として、専門家によるまちあるき企画を通じ、商店主が気づかない商店街の魅力を発見するノウハウを学んだ。



(スピンオフ企画) まちあるきの様子

(6) 外貨獲得のための「エリア価値」の向上

商店街ブラッシュアップ

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和6年度決算額：3,528千円

令和6年度の取り組み

クリスロード商店街振興組合が実施する改修事業に対し、補助金を交付した。

- 主な改修内容：アーケード雨漏り箇所補修及び稼働屋根保守点検、非常用予備発電装置更新
- 令和6年5月着工、令和6年11月竣工



主な改修箇所